

PARTNERS

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

TWS

信頼と安心のネットワーク  
OTG  
OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLAT2

Revit  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS



10 May, 2012

## ▶ Race Report

### PETRONAS TWS GS350 デビュー2戦目で初表彰台を獲得

■公式予選 【天候】 晴 【コース】 ドライ

2012年スーパー耐久シリーズ第2戦の舞台はツインリンクもてぎ。昨年は最終ラウンドとして開催されたが、今季は開催時期が大幅に改められ、かなりコンディションの異なる状況でレースを戦う事となる。さらに今回は久々の2day開催。予選は決勝開催日の前日、28日の土曜日に行われた。

前日金曜日のセッションでは、ウェットコンディションで2番手タイムをマークしていたPETRONAS TWS GS350。この日は晴れ間が戻り完全なドライコンディションでのセッションとなったものの、その走りには多くの注目が集まった。そんな中、PETRONAS TWS GS350は朝のフリー走行でまずはベースのセッティングを確認。ここでまずまずの走り出しを見せたものの、後の公式予選には開発途上にあるハンディを少しでも早く埋めるべく更に大きな変更をマシンに加え挑む事となった。そして迎えたAドライバー予選。ここでマシンに乗り込んだ吉本大樹選手は「(朝から大幅にセッティングを変更して)結果としては良い方向には進まなかったけど、後に向けての方向性は確認出来た」という内容で、まずは2'07"210をマーク。更にその後のBドライバー予選では、佐藤晋也選手がABS系のトラブルを抱えタイヤが壊れてしまうという苦しい展開ながらも2'07"645をマーク。これでPETRONAS TWS GS350は翌日決勝の5番手グリッドを確保。そしてその後のCドライバー予選では今回はドライバーとして参戦した小林敬一がレースセットを確認。「決勝に向けてはマシンバランスも良い方向に進んできた」と、まずまずの内容で初日の公式予選を終える事となった。

■決勝 【天候】 晴 【コース】 ドライ

4月下旬とは思えない、まるで夏を思わせるような天気となった日曜日のツインリンクもてぎ。決勝は気温28℃、路面温度38℃という過酷なコンディションでスタートの時を迎える事となった。

前日の予選では、フリー走行から様々なマシンセットにトライし続け、最終的に5番グリッドを獲得したPETRONAS TWS GS350。そのPETRONAS TWS GS350はこの日朝のフリー走行でも新しいセットにトライ。そのデータを基に決勝に向け更なる変更をマシンに加える事に。ところがこの作業に予定以上の時間を擁してしまい、何とスタート前のピットクローズまでに間に合わず。これによりPETRONAS TWS GS350はピットスタートから決勝を戦う事となってしまった。

この苦しいスタートを担当したのは、前回は監督としてチームに帯同、今回はドライバーとして参戦していた小林敬一。それでも小林はここでベテランらしい落ち着いた走りを披露する。タイヤは前日の予選で使用したUSEDタイヤであったが、それを感じさせないペースで序盤から着実にポジションをアップ。クールスーツとドリンクシステムにトラブルを抱えていた為、エアダクトの無いマシン内部は相当な暑さであったにも関わらず、その後もペースを乱す事無くきっちりと30周を走り切り、第2スティントの吉本選手へとステアリングを繋いでいく。するとその吉本選手もここから初の表彰台獲得に向けハイペースで周回、心配されていた電気系トラブルが出る事もなく、いよいよ表彰台獲得が現実味を帯びるポジションで最後の第3スティント佐藤選手へとマシンを託していく。

ここまでの流れは「このままいけば3位は確実」という展開。当然ピット内には初表彰台獲得への期待が高まりだす。ところが最後の最後にハプニングが待っていた。なんとハイペースでの追い上げを見せた佐藤選手は2位のマシンに追いつき、最終ラップの最終コーナーでこのマシンをオーバーテイク。2位でチェッカーフラッグを潜り抜ける。ところがこの順位変動の際に接触があった為、これが危険行為としてペナルティの対象になる可能性が出てきてしまう。レースが終了した時点でPETRONAS TWS GS350と4位のマシンとの差はわずかに23秒。30秒以上のペナルティを課されれば、またしても初表彰台獲得を目前で逃す事になる。コントロールタワーに向かった佐藤選手と正式結果を待つピット内には何とも言えない空気が漂う事に。しかし発表された正式結果は「ペナルティとして10秒を加算する」というもの。これにより、PETRONAS TWS GS350の3位が確定。惜しくも2位は逃したものの、デビュー2戦目での初表彰台獲得を成し遂げ、今季第2戦を終える事となった。

12' Super Taikyu Series Round\_2 / Twin ring motegi  
2012.4.28 (sat) Qualify  
2012.4.29 (sun) Final

【OSAKA TOYOPET motor sports report】 <http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/>

【OTG Motor Sports Club blog】 <http://blog.zaq.ne.jp/otgmsc/>

【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>

【Keiichi Kobayashi Official Site】 <http://www.koba-pla.net/>



## ▶ 小林敬一 コメント

10 May, 2012

今回はピットスタートとなり一時はどうなるかとも思われましたが、セッティングを優先した結果、中盤～後半の追い上げにつながったと思います。

自分のパートも風もクーリング補給もなく非常に辛かったけど、吉本のプッシュはさすがGTドライバーですね。彼のパートもきつかったはずなんで。（まだ暑い）最後の晋也の激走もあり最高の結果だったと思います。

デビュー2戦目のOTGスタッフの頑張りもあり良い結果がとれました。次戦のSUGOIは僕も相性のいいサーキットなので、更なるポジションアップを狙えるよう頑張りたいと思います。

## PARTNERS

VAPSn XPEL  
Car Protection Specialist

TWS

信頼と安心のネットワーク  
OTG  
OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLAT2

Revit  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ  
HIGH QUALITY CUSTOM PARTS



【OSAKA TOYOPET motor sports report】 <http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/>

【OTG Motor Sports Club blog】 <http://blog.zaq.ne.jp/otgmisc/>

【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>

【Keiichi Kobayashi Official Site】 <http://www.kobaplant.net/>